

(報道関係者へのお知らせ)

「第1回福島第一廃炉国際フォーラム」の開催について

平成28年1月28日
原子力損害賠償・廃炉等支援機構

経済産業省資源エネルギー庁と原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)は、本年4月10日(日)～11日(月)の2日間、福島県いわき市において、下記の通り、標記フォーラムを開催しますので、お知らせ致します。

記

1. 詳細情報：

2月5日(金)に専用ウェブサイトを開設し、順次、本国際フォーラムの詳細をご案内してまいります。<http://ndf-forum.com>

「第1回福島第一廃炉国際フォーラム」運営事務局：(株)アイ・エス・エス内 03-6369-9984

2. 参加申し込み：事前登録制

上記ウェブサイトにて、3月4日(金)18:00まで参加申し込みを受け付けいたします。申込者多数の場合は厳正な抽選を行い、参加証の発送(メール)をもってご連絡に代えさせていただきます。(1日当たり400名程度の参加者を予定しております。)

【添付資料】

- ・第1回福島第一廃炉国際フォーラム実施概要 【添付①】
- ・実施内容(調整中) 【添付②】
- ・第1回福島第一廃炉国際フォーラムのお知らせ 【添付③】

※ 報道機関向けの取材案内・要領等につきましては、3月上旬～中旬を目途に改めてご案内いたします。なお、フォーラム当日の宿泊施設等が必要な場合は、各社にて手配をお願い致します。

以 上

問い合わせ先：
原子力損害賠償・廃炉等支援機構
廃炉総括グループ
電話：03-5545-7104 池上・伊藤

第1回福島第一廃炉国際フォーラム実施概要

1. 名称

第1回福島第一廃炉国際フォーラム ～東日本大震災から5年～
The 1st International Forum on the Decommissioning of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station
～ Commemorating 5 years since the Great East Japan Earthquake ～

2. 開催趣旨

東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置は世界にも前例のない困難な取組であり、円滑に進めていくためには、風評被害を防止しつつ、世界の叡智を集め、長きにわたる廃炉を担う人材の育成を進めていく必要があります。また、廃炉に携わる研究機関及び企業が行ってきた研究開発の成果や廃炉の進捗状況については、国内外に対して更なる理解促進を図ることが重要です。

については、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故発生から5年の節目を迎える今春、福島県いわき市内において、国際原子力機関（IAEA）及び経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）等の国際機関をはじめ、国内外の関係機関や専門家、地元の方々や学生等にもご参加いただき、経済産業省資源エネルギー庁と原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）の共催で、第1回福島第一廃炉国際フォーラムを開催します。

本フォーラムは、世界中の著名な専門家、学生及び地元関係者が一堂に会する、廃炉分野における初めての国際的なフォーラムです。

また、同時開催するイベントでは、廃炉作業の様々なステージにおける研究開発の取組を紹介することで、日本企業、海外企業及び学生を含む廃炉に関係する方々の交流・人材育成の場を提供します。

3. 開催時期

平成28年4月10日（日）～11日（月）（2日間）

4. 会場

スパリゾートハワイアンズ（会場：コンベンションホール「ラピータ」）
〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蕨平50
(<http://www.hawaiians.co.jp/>)

5. 開催体制

〈主催〉

経済産業省資源エネルギー庁、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）

〈協力〉

国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）、
日本原子力研究開発機構（JAEA）、国際廃炉研究開発機構（IRID）、駐日英国大使館、
駐日フランス大使館、駐日米国大使館、東京電力

〈後援〉

復興庁、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、
福島県、福島大学、福島工業高等専門学校、福島民報社、福島民友新聞社、日本原子力学会、
日本原子力産業協会

6. 使用言語

英語及び日本語（フォーラムは同時通訳）

実施内容（調整中）

1. フォーラム

(1) テーマ・内容

- ① 廃炉に向けた取組の理解促進及び地域社会とのコミュニケーションの強化
 - ・ 海外からのメッセージ、廃炉の経験及び地域社会の関わり
(英国、フランス、米国等の政府機関並びに英国の自治体住民及び関係者)
 - ・ 福島第一原子力発電所における廃炉作業の取組等（東京電力）
- ② 福島第一原子力発電所の廃炉における技術的課題の解決に向けて
 - ・ リスク評価、燃料デブリ取り出し、廃棄物対策
- ③ 国際社会から見た福島第一原子力発電所の廃炉への取組の評価
 - ・ 福島第一原子力発電所の廃炉と将来に向けての考察（OECD/NEA）
 - ・ 国際社会から見た福島第一原子力発電所の廃炉への取組に対する評価（IAEA）
- ④ 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組の現状
 - ・ NDF の活動と戦略プランについて（NDF）

(2) 主な登壇者

ウィリアム・D・マグウッド四世	【経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）事務局長】
ファン・C・レンティッホ	【国際原子力機関（IAEA）事務局次長】
マイク・ウエイトマン	【元英国原子力規制機関（ONR）長官】
ジョン・クラーク	【英国原子力廃止措置機関（NDA）総裁】
モニカ・レガルブト	【米国エネルギー省（DOE）次官補】
クリストフ・ベアール	【フランス原子力・代替エネルギー庁（CEA）原子力開発局長】
崎田裕子（さきた ゆうこ）	【ジャーナリスト・環境カウンセラー】
丹羽太貫（にわ おおつら）	【放射線影響研究所 理事長】
遠藤典子（えんどう のりこ）	【慶應義塾大学 特任教授】
増田尚宏（ますだ なおひろ）	【東京電力福島第一廃炉推進カンパニー プレジデント】

2. 廃炉技術ショーケース

- ① 福島県の地元企業による廃炉・除染に関する情報発信
 - ・ 福島県廃炉・除染ロボット技術研究会（福島県ハイテクプラザ）による展示
- ② 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組に関する情報発信
 - ・ 廃炉技術展／ロボット実演コーナー

3. ネットワーキング

次世代を担う若手研究者や学生、国内外の産業界・研究機関との双方向交流

第1回 福島第一廃炉国際フォーラム

— 東日本大震災から5年 —



The 1st International Forum on the Decommissioning of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

— Commemorating 5 years since the Great East Japan Earthquake —

平成28年4月10日(日)・11日(月)

スパリゾートハワイアンズ ラピータ

〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蔵平50



ウィリアム・D・マグウッド四世
経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA)
事務局長

Mr. W. D. Magwood IV
Director General, OECD/NEA



ファン・C・レンティッホ
国際原子力機関 (IAEA)
事務局次長

Mr. J. C. Lentijo
DDG, IAEA



マイク・ウエイトマン
元英国原子力規制機関 (ONR) 長官

Mr. Mike Weightman
Former chief executive
Office for Nuclear Regulation (ONR), UK

— プログラム —

4/10(日)

- AM 開会挨拶
基調講演 —国際機関による福島第一原発に係る活動—
- PM セッション I —海外での廃炉への取組及び地域社会とのコミュニケーション—
セッション II —福島第一原発の廃炉への取組及び地域社会とのコミュニケーション—
ネットワーキングセッション

4/11(月)

- AM 基調講演 —海外における廃止措置の規制—
セッション III リスク評価
- PM セッション IV 燃料デブリ取り出し
セッション V 廃棄物対策
閉会挨拶

— ショーケース — (同時開催イベント)

● 廃炉技術展 / ロボット実演コーナー / 福島県廃炉・除染ロボット技術研究会



※写真はイメージです。

主催 経済産業省資源エネルギー庁
原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF)

協力機関 国際原子力機関 (IAEA)・経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA)・
日本原子力研究開発機構 (JAEA)・国際廃炉研究開発機構 (IRID)・
駐日英国大使館・駐日フランス大使館・駐日米国大使館・東京電力

後援機関 復興庁・外務省・財務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・
国土交通省・環境省・福島県・福島大学・福島工業高等専門学校・
福島民報社・福島民友新聞社・日本原子力学会・日本原子力産業協会

お問い合わせ:

第1回福島第一廃炉国際フォーラム運営事務局
株式会社アイ・エス・エス内
〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル8階
TEL: 03-6369-9984 FAX: 03-3453-1180
E-mail: forum-reg@issjp.com
受付時間 平日9:30~17:30 (土・日・祝日は休業)

事前登録制・日英同時通訳あり



(備考) 2月5日(金)に本フォーラムのウェブサイトを開設し、一般参加募集を含め、
内容紹介を順次行ってまいります (<http://ndf-forum.com>)。